

修了生の活躍事例

きっかけは、施設見学会！！

前職の先行きが不安なこともあり退職し仕事を探していました。思うように再就職先が見つからず悩みながらハローワークで相談をしていました。そこでポリテクセンターでの職業訓練の紹介を受け、毎週水曜日に実施している施設見学会に参加しました。

ポリテクセンターでは機械系や電気系など「ものづくり」に関わる様々な訓練コースがあり、その中で一番興味を持った「ものづくり溶接科」に応募することに決めました。溶接に関して全くの未経験でしたが、実習場の環境、訓練風景、雰囲気などを見学させてもらい、また、訓練を受講している皆さんがとても真剣で前向きさも感じられ好感を持ち、自分もここで実際にやってみたいと思いチャレンジすることとしました。



製品寸法を測定



架台を製作中



スクリーブレス脱水機
DM40

川口精機株式会社（静岡県静岡市清水区袖師町902）

当社では「スクリーブレス脱水機」を自社製品として開発、製造、販売を行っております。「スクリーブレス脱水機」は、食品加工で発生・問題となる、食品廃棄物の大幅な減少と飼料などへの再資源化が可能となり、食品加工業界などを中心に「SDGs（持続可能な開発目標）」の観点から大変注目を集めており、全国の食品工場に多数導入しております。



企業外観

川口精機株式会社

松本 宜征 さん (36歳)

[⇒前職：サービス業（事務）]

テクニカルメタルワーク科 (6か月訓練)

令和 1年 6月 入所

令和 1年 11月 修了



松本さん(左)と松浦次長(右)

将来へむけて、オールラウンドに働ける人材を目指して！

入社から1年ほどが経ち、溶接での仕事もある程度出来る様になってきましたが、技術的な要素や生産性という面でまだまだ伸ばすべき面が多々あると思います。やはり溶接は毎回結果が異なり、奥が深い技術だと日々感じております。そこが面白い所でもあり、これからも勉強を続け、溶接の仕事のみならず他の仕事も幅広くこなせるように成長し、会社が求めるオールラウンドに働いていける人材を目指していきたいと思っております。

採用者の声 第一製造部 次長 松浦 恵 様

私自身、ポリテクセンターで在職者訓練で溶接の講習を受講し訓練の質の高さを感じておりました。また、在職者訓練以外にも離転職者に再雇用を目的とした6カ月間の訓練を行っている事を知りました。今の時代、汎用機の加工職人・溶接工を志す若者が減少しています。その様な現状も含め将来を見据え、中核を担う人材が欲しいと思い実際の訓練を見学させていただき改めて訓練の質の高さを感じました。

そのような経緯の中、松本さんは様々な溶接、金属加工の基本をしっかりと学んできておりとても助かっています。現在では、ユーザー様ごとに作成された図面を見て構造物を溶接で組み上げる工程を一人で行えるようになっております。基礎教育をしっかりと行い良い人材を送り出して頂いたポリテクセンターにはとても感謝しています。